

【活動内容】

- ① すいかわりの行事を楽しむ
- ② すいかのジュース作り
 - ・丸ごとスイカを見て、触る。
スイカの大きさ、固さを知る。
 - ・目の前で半分に切り、断面を見る。
 - ・半分はジュース用、半分は手で潰し、
スイカの触感や香りを楽しむ。
 - ・ジップロックにスイカを入れて、袋の上から
各自潰しジュースを作る。

【活動中の子どもの姿・子ども同士や保育者との関わり】

- ・切っていない状態の丸いスイカに触れてみたり、香りを嗅ぐと嬉しそうな様子が見られた。
- ・ジップロックに入れたスイカを一生懸命手で潰していた。
- ・最初はスイカジュースを飲むことに抵抗がある様子だったが、保育者がスプーンで一口あげると自分でも飲んでいました。
- ・ジュースを飲むと、「あまいね」と感想を保育士に伝えていた。
- ・手を叩いてお友だちを応援したり、お友だちのジュース作りに興味をもち見ていた。

これはなんだろう？
さわるとつめたいな



あまいかな？
からいかな？



スイカを押したら、
ジュースができた！



【振り返り・振り返りによって得た先生の気づき】

- ・事前にスイカ割りの行事をおこなったり、スイカの絵本を読んでいたため、1.2 歳児はスイカに対しての興味関心が増していた。
- ・個々の発達段階に合わせて活動を行ったため、全員が自分のペースですいかに興味を持ち、触れることができていた。
- ・最初は活動に戸惑いを見せていた子も、みんな同じ空間で活動を行うことで、『お友だちが楽しそうだから、わたしもさわってみたい』『ぼくも飲んでみようかな』と、意欲的に活動に取り組むことができていた。